

2020年も全力でがんばります 新年度予算への要望書を市長に提出



2019年12月9日、日本共産党福岡市議団は、新年度予算への重点要望298項目を高島宗一郎市長・星子明夫教育長に提出しました。

国保料引下げ、保育士・介護職員の待遇改善、住宅リフォーム助成、加齢性難聴者への補聴器購入補助、地球温暖化対策、ムダな大型開発の中止などを求めています。

市長は「共産党とは違いもあるが、共通してできることもある。結果として実現できることがあればいい。要望はよく読ませてもらう」と述べました。



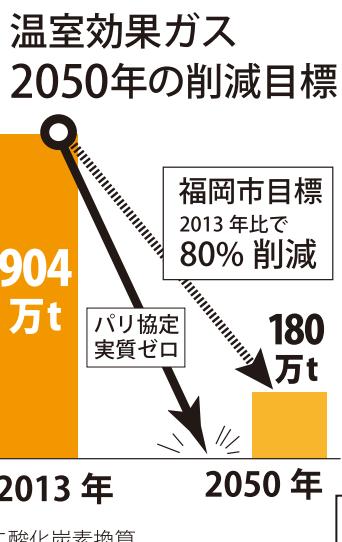
グローバル気候マーチに参加

気候変動・温暖化に具体的な政策・行動を求める国際的な抗議行動「グローバル気候マーチ」が昨年11月29日に天神でもおこなわれ、日本共産党から倉元達朗・綿貫英彦の両市議が参加しました（右写真）。



温室効果ガス 市の削減目標の引上げ迫る

倉元市議は12月議会で市の地球温暖化対策をただしました。市の温室効果ガス削減目標が国際水準にてらしてあまりに低く、引き上げるよう要求。自治体として非常事態宣言を出すべきだと市長に求めました。



中学まで通院助成拡大を

中山郁美団長は「県が子ども医療費の通院助成を中学まで広げる方針を示した。福岡市でも運動があり、遅滞なく拡充してほしい」と訴えました。

ご意見・ご要望をおよせください
☎092(711)4734 FAX(741)4627
ホームページ <http://www.jcp-fukuoka.jp>
メール info@jcp-fukuoka.jp

「桜を見る会」に市長が5年連続参加

国政で大きな問題となっている安倍首相の「桜を見る会」疑惑について、高島市長も、少なくとも5年連続で出席しており、市政の場からこの問題を山口湧人市議が追及しました。メディアでもこの質問は報道され注目されました。

市長は自らの招待理由は不明のまま「公務」として参加してきたこと、安倍事務所主催の「前夜祭」には正式な招待もなく参加し、受付すれば入られたことなどが質問で明らかになりました。そして、理由不明の「公務」や招待もされ

ていない「祭」に参加するため福岡市を2日も空ける市長の「安倍もうで」ぶりの異常さが浮き彫りになりました。

安倍首相による公式行事の私物化、「前夜祭」の公選法・政治資金規正法違反の疑惑、反社会的勢力の参加、官僚の資料破棄などについて市長は「国において対応がなされるものと認識している」などとして一切問題視しない姿勢をとりました。



若い人・高齢者への家賃補助を

松尾りつ子市議は、市営住宅の管理を住民に押しつけず、市・公社が責任を持つよう議案質疑で求めました。また、公約として掲げた高齢者や単身の若者などへの家賃補助についても提案しました。市は現在、補助制度の検討に入っています。



「他にも手洗い場はある」

委員会審議でセンターの手洗いが壊れたまま放置されていた問題で、市側は、手洗いが1つくらい壊れていても「他にも手洗い場はある」などというとんでもない答弁までしました。

ずさんな指定管理やめよ

市民センターの管理が民間の指定管理者になってから、故障が直らない、利用者無視の運営があるなどの実態を松尾市議が暴露し、大企業系列の企業に管理を丸投げする議案の撤回を求めました。

堀内徹夫市議が反対討論でこの問題を取り上げました。



2ヶ月も壊れたまま放置された市民センターの手洗い

国保署名を提出



国民健康保険料引下げなどを求める署名 3万 2871 筆が市議会に提出されました (昨年12月17日)

意見書案への態度	共産	自民	公明	市民ク	令和	自民新	緑ネ
「桜を見る会」をめぐる疑惑の徹底解明を求める意見書案	○	×	×	○	×	×	○
被災者生活再建支援法の見直しを求める意見書案	○	×	×	○	×	×	○
後期高齢者の医療費窓口負担に関する意見書案	○	×	×	○	×	×	○
大学入試共通テストへの英語民間試験及び記述式問題の導入の断念を求める意見書案	○	×	×	○	×	×	○
令和元年台風第19号等からの復旧・復興に向けた対策を求める意見書案	○	○	○	○	○	○	○

「市民ク」は「福岡市民クラブ」(立憲民主・国民民主・社民などの合同会派)。「緑ネ」は「緑と市民ネットワークの会」。「令和」は「福岡令和会」。「自民新」は「自民党新福岡」。